メンバーズインタビュー

組合員紹介 No. 6

特定非営利活動法人

小山緑志会

林業からスタートし、チップ製造、運搬、建築土木工事、災害復旧支援など、新たな挑戦を積み重ねて、事業のフィールドを広げる。

チップ製造工場に投入される原木

どんな事業をされていますか？

森林管理、造林、伐採、運搬、チップ製造と、林業からチップ製造までを一貫して手掛けている。小山緑志会はNPO法人ではあるが、事業活動の内容は民間企業と変わりはない。東日本大震災後、政府の緊急雇用対策事業を受け、雇用の新たな受け皿として小山町からの依頼を契機に、平成24年に設立した。当時、実家で営んでいた製材業だけでは採用数に限界があり、また、地域の林業振興に助力できるという観点から、事業をスタートした。

林業は、国有林関係の伐採事業が多く、静岡、伊豆、東京、神奈川、山梨の管理署と取引があり、伐採後の造林も引き受けている。丸太は自社で消費するほか、(株)ノダや県森連にも供給している。チップ製造は、製紙や木質ボードの原料用、木質バイオマス発電の燃料用があり、事業全体の売上の半分を占め、取引先は200社程ある。

川風を利用し原木を乾燥

林業機械や重機を多数保有

移動式チッパーを効果的に活用

事業の特長や強みは何ですか？

造林、伐採、運搬、チップ製造を一貫して行っており、幅広い業務を受注することができる。各事業ごとに精通したスタッフがおり、事業全般で使用する林業機械や重機、トラック等を計25台保有し、現場の状況に合わせて使いわけ対応している。また、林業の施業で得た知識やノウハウを生かし、災害時の復旧支援も行っている。平成26年、広島市で豪雨による土砂災害があった際、復旧工事の要請があり、ハーベスタ、グラップル、フェラーバンチャなどの林業機械を自社トラックに積み現地に向かい、倒木や流木を除去し処分した。この対応力が評価され、現在、ネクスコ西日本や御殿場市と災害時の協定を取り交わしている。

代表的な製品、サービス、設備などは？

林業経営を持続していくためのチャレンジとして、テーダマツの植林事業を行っている。テーダマツは、合板用材等として活用できることがわかってきているが、育生事例に乏しく、日本の気候風土に適しているのか、生態系への影響がないかなど、調査、実証が必要である。テーダマツは、スギやヒノキに比べて成長が早く、下刈りなどの手間もそれほどかからないため、効率的で生産性の高い樹種となる可能性があり、30年間の長期プロジェクトとして取り組んでいく。

また、平成31年に、関連事業者として木産緑化株式会社を設立し、建設土木工事、造成工事、圃場整備など、小山緑志会ではできない関連領域をカバーしている。直近では、しいたけの菌床栽培を始めており、ナラ枯れ材をオガ粉として再利用し、香りが高いしいたけの栽培に成功した。今後は、栽培所に併設した直売所やJAファーマーズマーケット、近隣のスーパー、道の駅などでの販売を予定している。しいたけ栽培事業のねらいは、収益というより、新たに伐採を依頼してくれる山主を獲得する機会を創出することである。

今後の展望をお聞かせください。

2年後の稼働開始を目指し、伊豆市天城に製材工場を建設する計画がある。間柱、筋交、まぐさ等の羽柄材を製造する予定で、AIによる全自動の製造システムを導入し、少人員で効率的に稼働させる。伊豆地域における原木活用と製品生産・運送の拠点の役割りを担うとともに、商社を通じて東海、首都圏エリアに製品を供給していく。地の利を活かし競争力のある製品をつくり、販路を拡大していきたい。新規事業をやるには相当なエネルギーが必要だが、我々はそれができるポジションにいるため、周囲の需要に応え、積極的に事業を展開していく。

オートメーションされた化チップ製造工場

用途別にチップを製造し分別管理している

常にチャレンジする姿勢を持ち続けたいと語る
小寺良宗　理事長

取材日：令和6年9月17日

御殿場木材協同組合

特定非営利活動法人　小山緑志会

理事長　小寺良宗

静岡県御殿場市神山1428-2

TEL.0550-87-5015　FAX.0550-87-5020

Mail: oyamaryokushikai@aroma.ocn.ne.jp

設　立：2012年10月

事業内容：育苗活動、植樹活動、国有林管理、伐採、運搬、製紙用チップ･バイオマス燃料用チップの製造

従業員数：８名

年間売上高：７億円（令和５年度）

許認可等：林業経営体雇用管理等改善計画認定、産業廃棄物収集運搬業

ＵＲＬ：https://ryokushikai.jp/

発行：静岡県木材協同組合連合会